

概要

本協議会において、R3年度の検討対象輸送分野として「紙・パルプ」を選定。

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用される。

そういったなか、2019年11月に県協議会が実施した紙パルプ輸送にかかる荷主アンケートに続き、取引環境・労働時間改善、生産性向上などに向けて、県内における紙の一大産地である四国中央地区のトラック協会役員様等から、紙パルプ輸送の課題・問題点・要望などのヒアリングを実施。

日時：令和3年12月22日 11:00～12:00

場所：(公社)愛媛県紙パルプ工業会 会議室

出席者：トラック運送事業者6社

四国中央地区トラック協会 事務局

協議会事務局(愛媛労働局、愛媛運輸支局、(一社)愛媛県トラック協会)

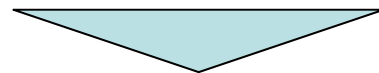
現在の取組

- ・共同で統一パレットの利用・回収を行うために、複数の事業者による協力体制を構築
パレタイズ化にあわせて、内部の工場ラインなどの設備を変更予定
- ・倉庫のシェアなどにより、積み込み場所を一部集約
- ・社内物流においてパレタイズ化を実施
- ・営業の際にパレタイズ化の推進のお願い
- ・全線での高速利用

課題

- パレタイズ化に対する荷主の知識・理解不足
 - 指導・周知不足
 - 業界だけではなく行政側の省庁横断的な取組の必要性
 - 回収方法などの実際の運用についての課題の共有
- 一連の物流の流れの中でのパレットの規格が不統一、重機などの使用の制限
 - 工場内と運送の際のパレットの規格が異なる
 - 積み込みはクランプリフトだが、卸先では利用できない
- 積載率の低下
 - 積載の低下により運賃も下がる
 - あわせて給与も下がる

- オーダーの時間の制約
 - 紙の種類によって、オーダーのタイミングが異なる
 - オーダーの出る時間が一定であることで、トラックが集中する時間帯がうまれてしまう
- 拘束時間、附带作業の考え方
 - 附带作業は手積みのをぞくと紙分野は少ない
 - 玉掛・積み込みなどが商習慣として含まれているところも多く、ここに付加価値を加えるのは難しい
 - 面接の際にバラ積みの有無を確認されるなど、附带作業が敬遠されるようになってきているイメージ



要望

- 高速道路の料金体系、インフラ整備の再検討
 - 割引内容、深夜割引の時間帯の変更、PAの拡充
- 燃料高騰にかかる負担の削減
 - トリガー条項、燃料費部分の料金の収受

- 運賃収受内容を認可制にすることへの提案
 - 現在の届出では拘束力が弱い
- 着時間についての弾力的な対応
 - 時間指定の導入(到着時間に幅を持たせる)